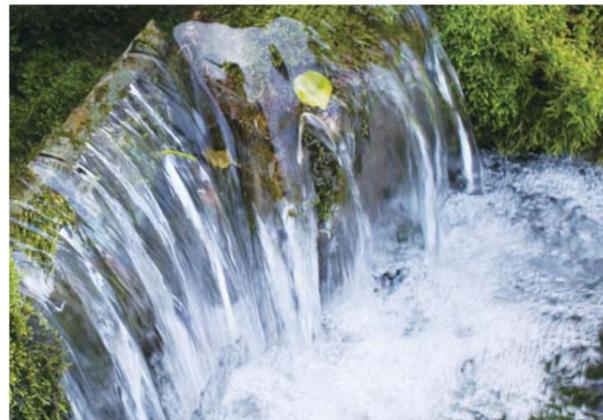


# 人と自然が共生する 安全で快適な環境・循環型のまちづくり



## 安全・安心な水を届け、美しい水を守る

上水道は、全て豊富な湧水と地下水を水源としています。また下水道の整備や合併処理浄化槽の設置により水洗化率が高く、清潔な生活環境と河川や地下水の水質が保全されています。



上水道 塩野配水池



公共下水道 浄化管理センター



杉の子幼稚園前道路拡幅工事

## 道路網整備

国道、県道、町道によって構成される当町の道路網。安全性、緊急度の観点から逐次要望、整備を行っています。同時に、既存道路や橋りょうなどの施設における長寿化を図り、計画的・効率的な維持補修に努めています。



栄橋(平成26年7月竣工)



## 生命・財産を守り、安心して暮らせるまちのための消防・防災体制

地震・噴火・異常気象など、さまざまな災害に対応した減災・防災体制の整備をして、住民・事業者・行政がそれぞれの役割を發揮し、災害に強いまちづくりを進めています。また、町では非常用食料や毛布を備蓄するとともに、15団体と協定を締結し、災害時に物資やサービスの支援を受ける体制を整えています。



地域防災体制の中核的存在・消防団

## 自主防災組織

「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神のもと、近年、町内の各地区で自主防災組織の取り組みが進んでいます。

## 防災行政無線・メール配信サービス

速やかな情報伝達は、災害時の避難・救助・救援活動に大きな役割を果たします。町では、防災行政無線とメール配信サービスによる伝達体制を整備しています。また、平常時には行政情報の伝達に使用しています。



塩野区自主防災訓練

# 住民協働による 魅力あるまちづくり



町長 茂木 祐司



副町長 渡邊 晴雄



教育長 櫻井 雄一



議長 古越 弘



副議長 池田 健一郎

地方分権が進んだ現代において、まちづくりは地方自治体が自ら選択し、行動することが必要です。同時に、住民と行政が適切に役割分担をしながら、協働してまちづくりを行うことが持続可能なまちをつくれます。この考えに基づき、御代田町は、平成28年3月に策定した第5次御代田町長期振興計画において、個人自らが行う「自助」、個人でできないことを家族や地域の取り組みのなかで解決する「共助」、それでも解決できない問

題は行政が担う「公助」の3つを基本としてまちづくりを進めることとしました。また、日本全体で少子・超高齢化が進み人口が減少するなか、各地方自治体は存続を掛けて、独自に魅力ある政策を展開していかなければなりません。平成27年度に策定した「御代田町人口ビジョン・総合戦略」により、雇用創出や地域活性化など、地方創生への取り組みを進め、「御代田町に住みたい、住んで良かった」と言われるまちづくりを行います。

## 平成27年版 長野県100の指標より 御代田町 長野県内(77市町村) ランキング

### 人口 若い世代が暮らすまち

■年少人口割合 **第7位** ■生産年齢人口割合 **第3位**

年少人口割合とは0歳から14歳まで、生産年齢人口割合とは15歳から64歳までの人口の御代田町人口に対する割合です。年少人口割合は14.5%、生産年齢人口割合は60.9%。御代田町では、育児と仕事の両立できる環境整備に取り組むなど、積極的に子育て支援を進めています。今後も、若い世代を応援し、子どもたちの声があふれるまちづくりを進めます。

### 人口が増えている活気のあるまち

■人口増加率 ■人口増加数 ■社会増加率 ■社会増加数 ■転入率  
**第5位 第5位 第4位 第4位 第5位**

人口増加数、人口増加率ともに上位です。日本が人口減少社会に突入する中で、御代田町の人口は年々増加しています。特に御代田町は、上信越自動車道の開通、北陸新幹線の開業による首都圏からの流入人口、近隣の市町村からの転入者が多くなっています。平成8年から超長期目標「2万人公園都市構想」を掲げ、魅力ある住みたいまちづくりに取り組むことにより、人口が増加する活気あふれるまちになっています。

### 経済基盤 企業誘致により働く仲間の多いまち

■1事業所当たり従業員数 **第3位**

御代田町は、昭和30年代から企業誘致を積極的に進めてきました。主な企業は、ミネベア(株)、シチズングループといった精密機器工場、(株)レーマンや日穀製粉(株)といった食品工場です。御代田町の冷涼乾燥な気候が適した企業が多く、佐久地域の中でも従業員数30名以上の大規模事業所が多いまちと言えます。現在は、設備投資補助金や制度資金あつ旋を柱とした「御代田町商工業振興条例」により企業を応援しています。

### 住居・環境 住みよい環境が愛されるまち

■新築着工住宅割合 **第4位** ■道路舗装率 **第3位**

御代田町は、転入されてくる方も含め住宅を新築し、住み続ける方が多いまちです。町では、平成元年施行の「御代田町環境保全条例」により自然・生活環境の保全に取り組むとともに、積極的・計画的に道路や下水道等の社会資本整備を進めてきました。これにより、居住者対象のアンケートにおいても「自然環境の良さ」「地理的な交通の便の良さ」「子育て環境の良さ」が挙げられ、御代田町の住みよさが高く評価された結果となりました。

### 医療 健康でいきいきと暮らせるまち

■脳血管疾患による死亡者数(人口10万人当たり) **第72位**  
■悪性新生物(がん)による死亡者数(人口10万人当たり) **第76位**

御代田町は、澄んだ空気、浅間のおいしい水、安全で安心な農作物といった健康を増進する環境に恵まれています。健康診断の推奨や若年世代の料理教室、ポールを使った健康ウォーキングなど、体系的な生活改善プログラムを構築し、病気の予防を積極的に進めることにより、健康なまちづくりを進めています。